

平成26年度進行管理・評価シート
津和野町歴史的風致維持向上計画（平成25年4月11日認定）

■進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 空き家再生事業	3
2 休憩施設等整備事業	4
3 水路修景・改良事業	5
4 旧城下町等サイン整備事業	6
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	7~9
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
⑥その他(様式1-6)		

□総括評価シート【方針の達成状況等】(様式2)

- ①計画に記載している方針(様式2-1)
- ②その他の項目(波及効果等;任意設定)(様式2-2)

□総括評価シート【代表的な事業の質の評価】(様式3)

- ①歴史的風致維持向上施設の整備・管理(様式3-1)
- ②その他(任意)(様式3-2)

■法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	10
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	平成25・26年度
項目	現在の状況	

○事業推進のための体制整備 ○歴史的風致維持向上協議会の開催 ○歴史的風致維持向上計画推進検討委員会の開催	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---	---

計画に記載している内容 庁内においては歴史まちづくり推進チームを構築して連携して事業に取り組むとともに、歴史的風致維持向上協議会を立ち上げ、計画変更や事業評価等に対応する。

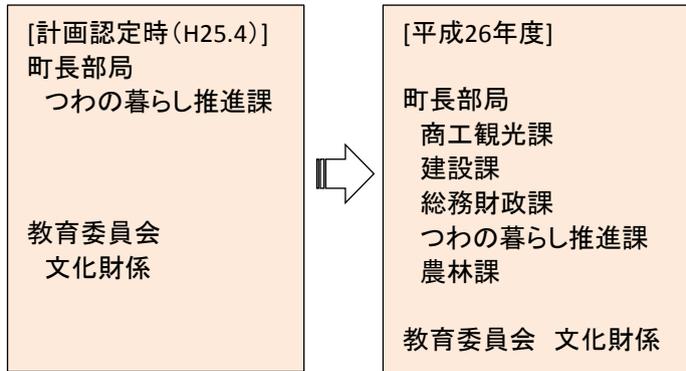
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○検討委員会・・・4回開催し、各事業の個別事業シートを作成、それをもとに県の担当課と事業の実施に向けた検討を行った。
 ○協議会・・・協議会を立ち上げ、年3回の協議会を実施した。各事業の実施内容の説明、事業評価における意見聴取を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、関係課、関係者間での連携を保ちながら、実行性のある推進体制を維持する必要がある。

状況を示す写真や資料等

■歴史町づくりへの全庁的な取り組み(事業担当の推移)



■歴史的風致維持向上計画推進検討委員会の開催(7/22、9/3、10/9、1/30)



<会議の概要>
 ・各事業内容の検討
 ・各事業ごとの事業シートの作成

■歴史的風致維持向上協議会の開催(12/1、2/6)



<会議の概要>
 ・各事業内容の検討、進捗評価

■文化財保護審議会(1/7)



<会議の概要>
 ・藩校養老館の事業説明、意見聴取

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成25・26年度
		現在の状況

○津和野町景観計画	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------	---

計画に記載している内容 津和野町景観計画に基づき、大規模な景観行為及び屋外広告物設置等に制限を設け良好な景観の形成及び歴史的風致の維持・向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

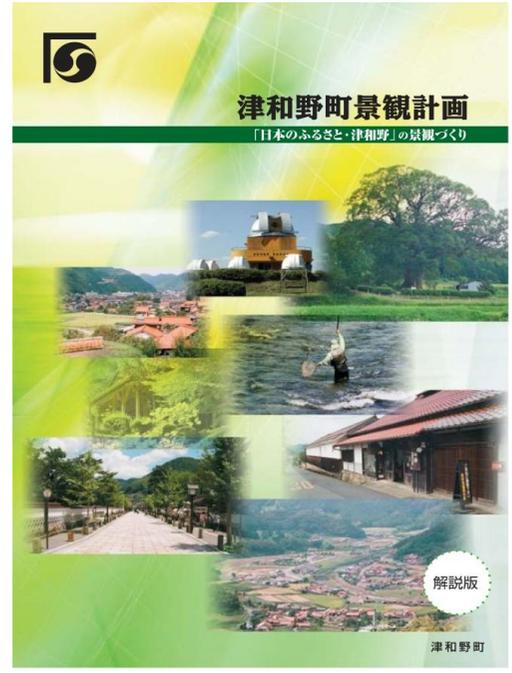
平成26年度 法16一届出(当初届出)42件
 法16五通知(公共協議)14件
 津和野町景観計画及び津和野町景観計画に基づき、届出対象行為に対する審査・助言等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

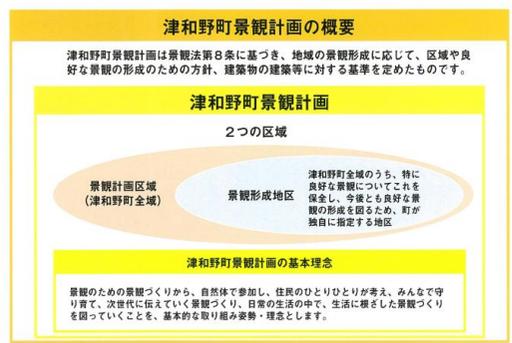
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	町民等関係者に対する周知を継続的に実施する。
---	------------------------

状況を示す写真や資料等

■津和野町景観計画



☆住宅の建設、土地の開墾、木や竹の伐採等を行う場合には届出が必要となる場合がありますので、まずは役場へ事前相談を!!



主な届出の必要な行為	景観計画区域 (津和野町全域)	景観形成地区 (町が独自に指定する地区)
建築物(お住まいの住宅、店舗、農業用倉庫等)の新築、増改築、移転、外観の変更、色彩の変更、又は除去等	①高さが13mを超えるもの又は建築面積が1,000㎡を超えるもの	①高さが5mを超えるもの又は建築面積が10㎡を超えるもの ②高さが5mを超えるもの又は外観の変更に係る部分の面積の合計が10㎡を超えるもの
工作物(門、垣、柵、塀、金網等)の新設、増改築、移転、外観の変更、色彩の変更、又は除去等	①門、垣、柵、塀、金網等→高さが2mを超えるもの又は長さ5mを超えるもの ②塀→高さが2mを超えるもの	①門、垣、柵、塀、金網等→高さが1.5mを超えるもの又は長さが5mを超えるもの ②塀→高さが1.5mを超えるもの
屋外における土石、農産物、再生资源、その他の物件の堆積	①高さが5mを超えるもの又はその用途に供される土地の面積が1,000㎡を超えるもの	①高さが1.5mを超えるもの又はその用途に供される土地の面積が100㎡を超えるもの
土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他土地の形質の変更又は水面の埋め立て	①面積が3,000㎡を超えるもの	①面積が1,000㎡を超えるもの
木や竹の伐採	①高さが10mを超える木や竹の伐採又は面積が3,000㎡を超える木や竹の伐採 ②森林衛生法等を妨げるために必要な木の伐採で面積が3,000㎡を超えるもの	①高さが10mを超える木や竹の伐採又は地上1.5mの高さにおける幹の周囲が1mを超える木の伐採

☆良好な景観形成を図る上で、大きな影響を及ぼさない一定規模以下の行為については、届出の適用除外となる行為があります。

色彩
 原色やけいばい色を選択し、落ち着いた色彩を基調とし、周辺の景観との調和に配慮すること



景観に配慮し建設された住宅

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25・26年度 現在の状況
空き家再生事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～28年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業)

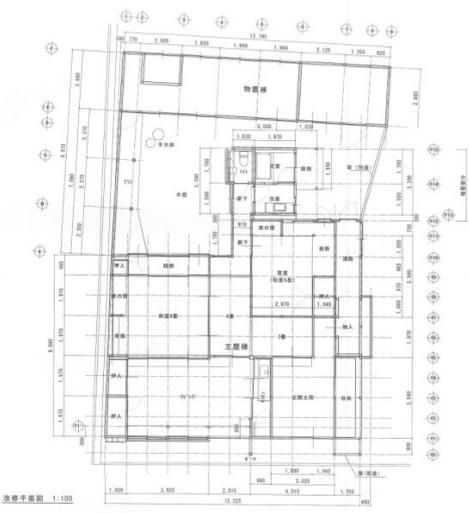
計画に記載している内容 空き家(「空き店舗」を含む。以下同様)の有効活用を促進するため、空き家の再生に関わる修繕を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 【平成25年度】後田(えびす丁)地区にある明治時代中期に建てられた河田家住宅(1棟)について、空き家となって長年が経過し、風雪等により建物全体が著しく損傷するとともに、周辺環境を阻害していたため、空き家の活用を図るため、主屋の保存修繕を行った。外観については、かつての意匠を基本として周辺環境にあったものとし、内部についても伝統的な空間をいかして公開活用を図るための整備が完了し、地域の歴史的風致の回復が図られた。整備面積13121㎡
 【平成26年度】後田(新丁通り)地区にある明治時代後期に建てられた潮家住宅(1棟)について、空き家となって数年が経過したが、有効的な活用を図るため、基本計画の策定及び実施設計業務を実施した。工事については平成27年度を予定している。計画面積168.13㎡

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	施設の有効的な活用を図るための計画策定及び組織の運営

状況を示す写真や資料等

■平成25年度実施(河田)



[平面図]

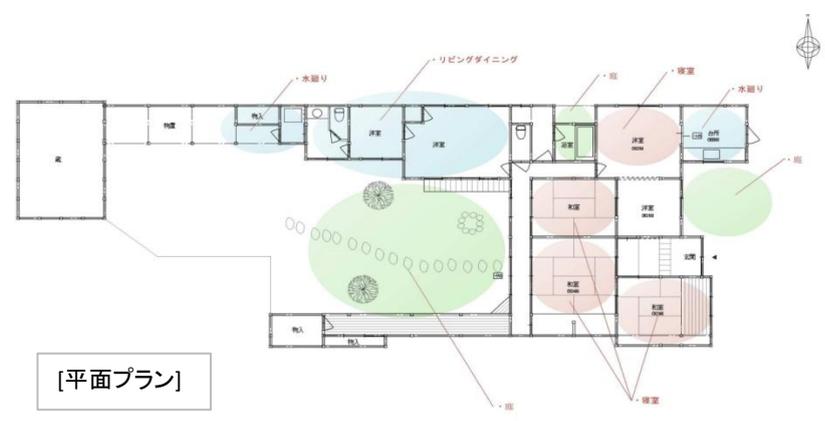


[修理]



[修理]

■平成26年度実施(潮邸)



[平面プラン]



[現状写]

[事業年度]
平成26年度・・・基本計画及び実施設計

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
休憩施設整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 老朽化している旧SL館(現在空き家)の敷地及び建物を買取り、取り壊し・撤去し、跡地には休憩や情報提供(案内)の場などとして利用できる小公園を整備する。

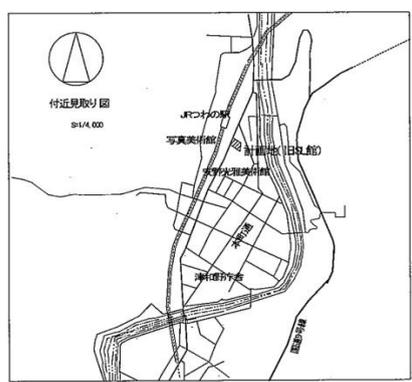
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 JR津和野駅前に昭和50年代に建設されたSL館(個人)について、空き家となって永年が経過し、駅前景観の阻害要因となっている。町はJRと協力して今後JR津和野駅の魅力づくりを推し進めていく計画であるが、その計画の一環として地域要望等に基づいて当該施設の解体及び小公園の整備を行う。平成26年度は解体工事を、平成27年度には小公園の整備事業を行う。
 【解体建物】S造、RC造地上3階建:総床面積584.35㎡ 【小公園整備】敷地面積225.82㎡

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

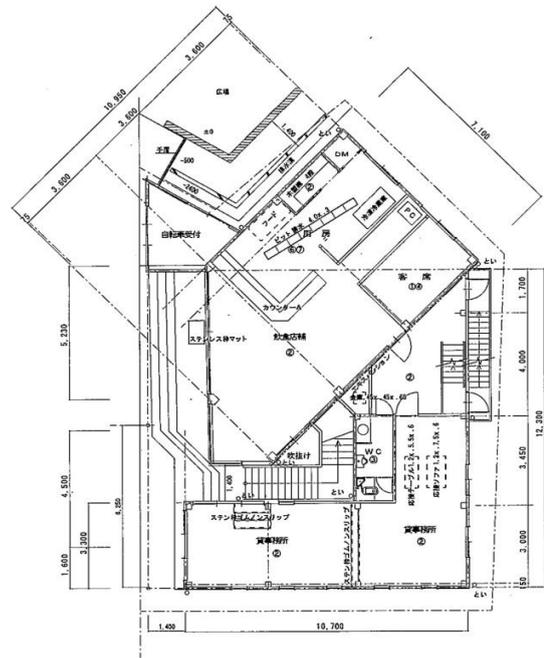
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

平成28年度から予定されている津和野駅周辺整備事業との関連性が求められる。

状況を示す写真や資料等



[位置図]



[一階平面図]



[立面図(西側)]



[解体前]



[解体後]

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
水路修景・改良事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
 ○殿町通り等の花ショウブのある水路の修景・整備を行う。
 ○水路の上流部にジェットポンプを設置するなどして、時間的に一定の流れを確保し、良好な水質の確保と鯉の育成環境の向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

後田地区にある殿町通り(約250m)にある水路は、鯉や花菖蒲の咲く明治時代に整備された津和野の主要観光スポットである。この水路にある花菖蒲用の枡およびライトアップ用の照明施設が老朽化のため損傷が進行し、周辺の歴史的景観の阻害要因となっている。このたび枡及び照明施設の整備が完了し、歴史的風致の回復が図られた。対象枡32個、照明施設12台

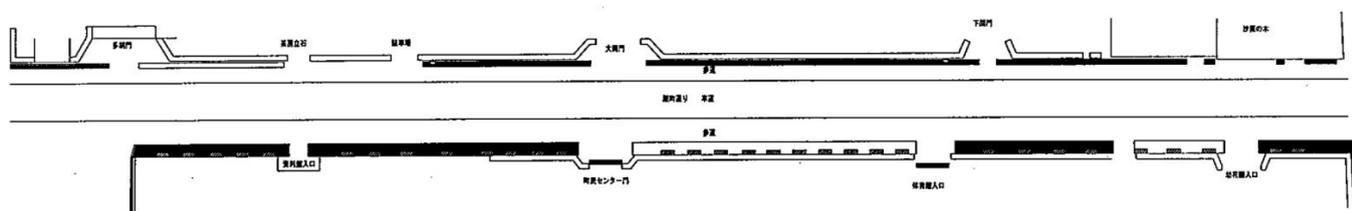
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

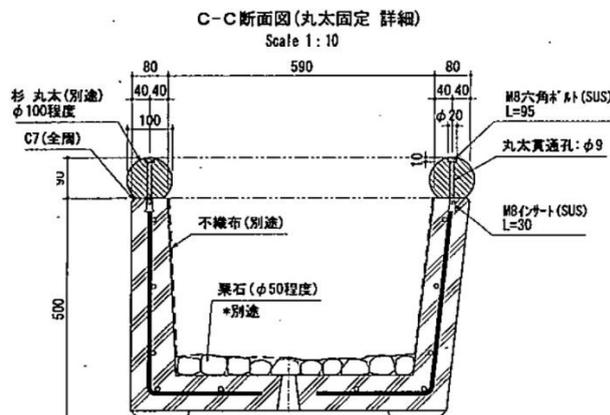
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

整備後は、毎年6月に満開期を迎える花菖蒲の適切な維持管理が求められる。

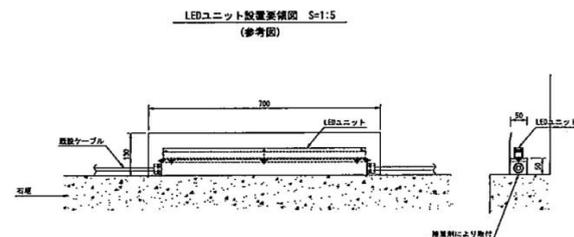
状況を示す写真や資料等



[殿町水路平面]



[菖蒲枡断面図]



[ライトアップ照明整備]



[殿町水路整備前]



[殿町水路整備後]

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
旧城下町等サイン整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 【第Ⅰ期】平成26年度～27年度、【第Ⅱ期】平成30年度～31年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
 ○重点区域内(旧城下町、歴史的建造物が集積する区域含む)における案内板、文化財等の説明版、誘導標識、表示板等の整備を行う。
 ○多言語音声設備等についても検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域内には、これまでに整備された様々な看板があるが、中には老朽化して要を為さないものや景観上問題のあるサインが存在している。平成26年度においては町の定めたサイン計画に基づいて主要駐車場などに総合案内板4基と、歴史的建造物が集積する重要伝統的建造物群保存地区の南北端において解説サインを2基整備する。平成27年度においては、総合案内板を中心として各観光施設等への誘導サインを整備する。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	老朽化したものや景観上問題のあるサイン(公私問わず)の撤去方法については今後検討を要す。

状況を示す写真や資料等

[看板設置箇所]



総合案内板 ①津和野町営駐車場入口 ②津和野町役場津和野庁舎裏駐車場入口 ③森鷗外記念館前休憩所
 ④津和野温泉なごみの里駐車場



[総合案内板]



[解説サイン]

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	

文化財の保存又は活用に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------	--	---

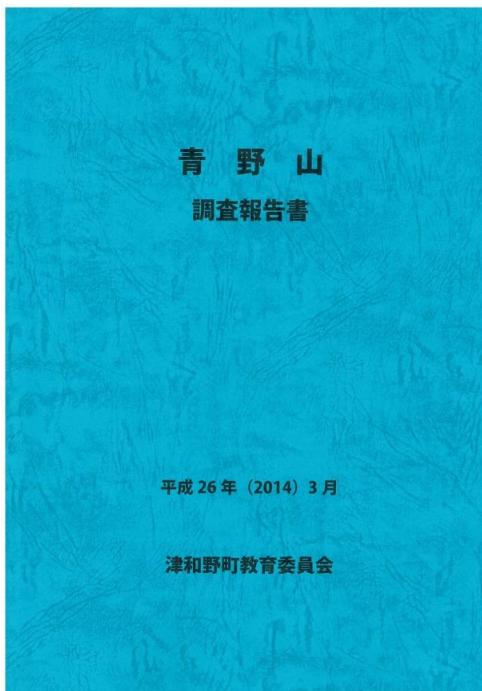
計画に記載している内容 ①文化財の調査、埋蔵文化財の取扱など

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

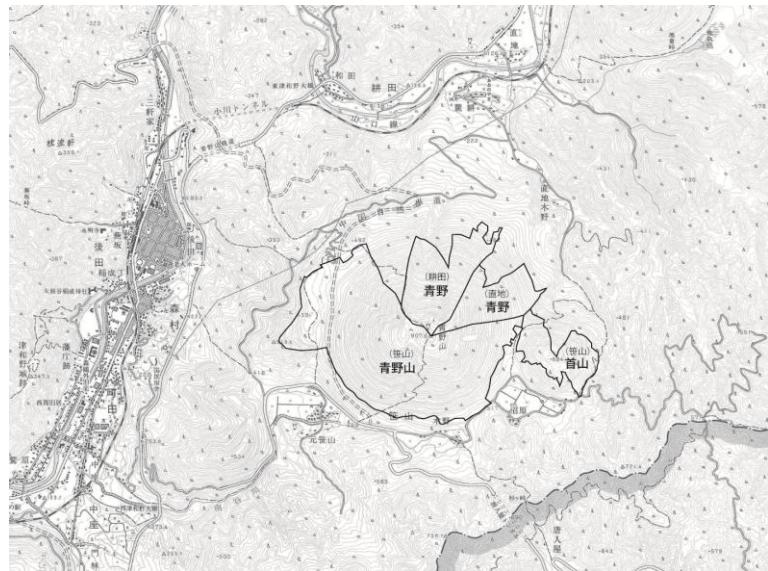
文化財の調査については、これまで文化財総合的把握モデル事業でおこなってきた文化財調査の成果にもとづき、平成25年度には地学の専門家による青野山の調査を実施し、報告書を作成した。平成26年度より青野山の文化財指定(天然記念物・名勝)に向けて地元住民に情報提供をおこなっている。埋蔵文化財の取扱いについては、周知の埋蔵文化財包蔵地における開発の際に、文化財保護法に基づき、遺跡の記録や保存等に関する調査や行政指導を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財指定については、町内外に居住する地権者の同意が必要となり、現在同意書取得を進めている。埋蔵文化財については、これまで同様に周知の埋蔵文化財包蔵地における開発の把握が必要であり、文化財保護法に基づく調査や行政指導を実施していく。

状況を示す写真や資料等



青野山調査報告書



青野山文化財指定予定範囲図



埋蔵文化財発掘調査状況(津和野城下町遺跡)



埋蔵文化財発掘調査状況(津和野城下町遺跡)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25～26年度 現在の状況
文化財の保存又は活用に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

②文化財の復旧(保存修理等)、文化財の防災、文化財と調和した周辺環境・景観の保全・形成

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の復旧(保存修理等)については、藩校養老館修理・復元事業として平成26年度に保存修理事業の基本設計を実施し、津和野城跡の大手門復元のイメージ図の作成、伝統的建造物群保存地区の保存修理などを実施した。文化財の防災については、平成25年7月の豪雨災害で被災した文化財の修理事業を実施した。文化財と調和した周辺環境・景観の保全・形成については、平成26年度に伝統的建造物群保存地区の案内表示板を設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

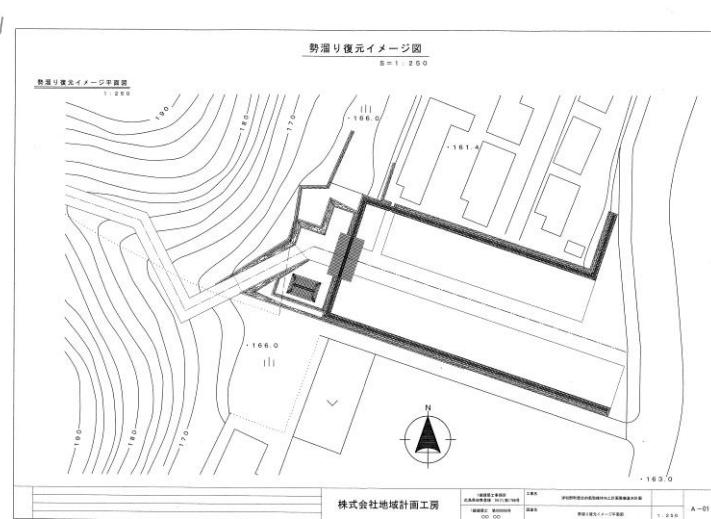
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

文化財の復旧(保存修理等)については、平成26年度の藩校養老館基本設計を踏まえ、活用事業について津和野町文化財保護審議会等で検討をおこない、その内容を平成27年度に実施する実施設計に反映する必要がある。津和野城跡の大手門復元は既存施設の移転が課題であり、関係機関と調整を進める必要がある。文化財の防災については防災設備の設置・点検が課題である。文化財と調和した周辺環境・景観の保全・形成については、津和野町景観計画を活かすことが課題であり、文化財や周辺の環境整備に努める必要がある。

状況を示す写真や資料等



津和野城跡大手門復元予定地



津和野城跡大手門復元イメージ図



津和野藩校養老館



津和野伝統的建造物群保存地区保存修理状況

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25～26年度 現在の状況
文化財の保存又は活用に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

③文化財の保存(活用)を行うための施設の整備

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

既存施設の活用として、津和野町郷土館では、年表パネル・地図パネルを設置し、ガイダンス機能の充実・強化をおこなった。日原歴史民俗資料館では、収蔵施設の修繕をおこない、地域活動団体と連携を図りながら、収蔵品の整理作業を実施した。平成26年度には私設の津和野今昔館を公有化し、文化施設のネットワークの充実を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	津和野町郷土館・津和野町民俗資料館は老朽化が進行しており、今後耐震補強を含めた展示施設のリニューアルをおこない活用していくことが必要である。その他、既存施設の活用が課題であり、ネットワーク利用を促進していくことが必要となる。

状況を示す写真や資料等



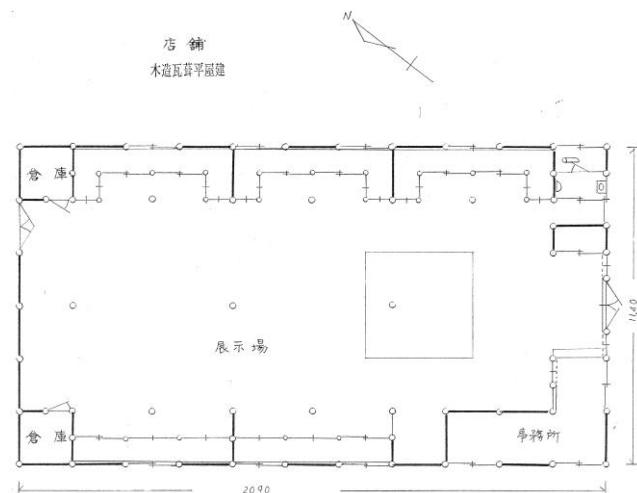
津和野郷土館



日原歴史民俗資料館収蔵施設



津和野今昔館



津和野今昔館平面図